



第四四半期 9月の始まり

今期もはや9月になり残すところ3ヶ月となりました。8月は酷暑を感じさせる月と思いましたが、梅雨空を思わせるほど曇り空が続きました。ただ気温は30℃を越す日が続き蒸し暑い日が多く感じました。8月終わりは夏空を思わせる晴れ間が覗き、やはり夏は暑いと感じさせる月になりました。9月は残暑の時期で少しずつ気温も下がり、秋を感じさせる月になるのではと思います。ただまだまだ暑い日が続くと思いますので、水分補給を忘れず体調管理には十分気を付けて、今月も頑張ってまいりましょう。

8月で第三四半期を終え、9月からは最終となる第四四半期に入ります。第三四半期は社員皆様のおかげで、ほぼ計画通りに進める事が出来ました。一部製品仕様の見直しで生産の変更を行う事となりましたが、他の仕事を行う事で売り上げを保つことが出来ました。

9月も生産する製品を見直しながらの対応となりますが、各部門長は各部員の能力を引き出しながら、立てた計画を遂行し計画達成に向けて引き続きのご協力をお願いします。

それでは今月一カ月間よろしくお願いします。

社長 太田 聡

🍁お月見と十五夜🍁

9月に入り秋が近づいてきました。今回は秋の風物詩、お月見をする十五夜について紹介します。

十五夜とは・・・旧暦の8月15日（現在の新暦9月15日）前後に訪れる満月の日の事を呼びます。十五夜と同じような意味として「中秋の名月」や「芋の名月」といった呼び方もあります。

十五夜の意味・・・「満ち欠けする月の様子」や「作物が月の満ち欠けとともに成長することから【農作物の収穫】【ものごとの結実】【祖先とのつながり】を連想し、それぞれに感謝し祈るようになったのが十五夜です。

十五夜と言えば満月を想像するかもしれませんが、ここ数年では1日～2日間ずれてることの方が多く必ずしも満月にはならないそうです。因みに今年の十五夜は10月4日になります。乞うご期待！

十五夜の夜は月を眺める舞台となる「月見台（つきみだい）」を用意し、じっくりとお月見を楽しむのが基本。縁側やベランダ、窓辺など美しい月を眺められる場所に月見台を置き、三方（さんぼう）に月見団子や里芋、果物などのお供え物を飾って、家族みんなで月を楽しむのが古来から続く十五夜の楽しみ方です。

うさぎの小物や月に関連する小物などを部屋に飾ってみたりしてお月見らしさを高めて今年の十五夜をお楽しんでみてはいかがでしょうか。



思い出の写真 一大城 勝也さん

この写真はいつ、どこで撮りましたか？

去年の夏、自宅で

この写真に対する思い出を一言

我が家の孫六人衆！

わんぱく、おてんば勢揃い！

全員集まると家が破壊されそ～

でも、やっぱり孫は可愛い～の

元気パワーを貰って、

じいじは、まだまだ頑張らねば！！



アンケート 今回のアンケートは大塚 千帆里さんです

- Q：一番の贅沢はどんなことですか？ A：朝、時間を気にせず、
ゆっくり寝れることです。
- Q：マイブームは何ですか？ A：沖縄料理とオリオンビール
- Q：生まれ変わったら何になりたいですか？ A：犬
- Q：宝くじで100万円当たったら
何をしますか？ A：投資したいです。
- Q：アボロの好きなところはどこですか？ A：旅行とか忘年会とか、普段行けない
ような所へ連れて行ってくれる所。
- Q：理想の上司を有名人で例えると誰ですか？ A：中川家 礼二(笑)
- Q：地球最後の日に食べたいものは
何ですか？ A：海鮮丼 or うなぎとビール
- Q：今年の夏の思い出を教えてください。 A：実紗さんと夏フェスに行ったことが
一番楽しかったです。

～京の風景～

【平等院鳳凰堂】

「京の都の極楽浄土」と呼ばれ、10円硬貨のデザインとしても知られる『平等院鳳凰堂』は平安時代1053年に藤原頼通（ふじわらのよりみち）により建てられました。1994年に歴史的背景や建築様式が貴重と判断され世界遺産に登録されています。

2012年から2014年にかけて修復工事が行われ、創建当時と同じ酸化鉄の塗装素材を使用した色鮮やかな赤を塗って平安時代と同じ姿にみがえりました。



山崎

会長より

一語一会

朝日新聞（東京）夕刊、8月10日付に、浜松で育った作曲家・ピアニストの村松崇継（たかつぐ）さんが紹介されていた。

幼稚園から始めたピアノのレッスンが忙しく、小学校ではいじめにもあった。そんなとき、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」で、いじめられても夢を忘れない主人公に自分を重ね、映画音楽の魅力に目覚めた。

ピアノの先生には「手が小さくピアニストになるのは難しい」と言われるも、自分には作曲があると思えたという。

国立音楽大作曲学科への進学を両親はしぶしぶ認めたが、仕送りは部屋代だけだった。アルバイトをしながら、在学中から配給会社にCDなどを送り、それが原田真人監督に目にとまり、映画「狗神（いぬがみ）」や「突

入せよ！『あさま山荘』」の音楽を担当。

この映画を見た父の生道（たかのり）さんが言った。「今まで申し訳なかった」。商社マンで音楽関係に疎かった父が、認めてくれた瞬間だった。父からの言葉「作曲家として高みをめざせ。毎作品120%の力で取り組み、常に自分を超えられる」はいつも胸にあるという。

その後、映画「クライマーズ・ハイ」、「思い出のマーニー」、「64-ロクヨン 前／後編」、「メアリと魔女の花」などの音楽を担当。

「高みをめざせ」、「常に自分を超えろ」というのは、どの業界でも共通だ。取り組む仕事に対しては「120%」で挑戦してほしい。

会長 太田 顯

編集担当より

様々な方面で「〇〇の秋」と例えられるように、何をするにも快適なシーズンです。〇〇には何が真っ先に思い浮かぶでしょうか？

私は「読書の秋」が浮かびました。書店などでよく見かける「ベストセラー」ですが何部以上のご存知でしょうか。実は、これには出版業界で決まった定義はないようです。本のジャンルによって違いますし書店によっても違います。人文書では1万部売れたらベストセラーと言われ、文芸書だと10万部前後でベストセラーと言われ、コミックだと100万部売れてもミリオンセラーとあまり言われなくてもあります。

島

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行



アポロ電気株式会社

〒438-0004 ★ホームページをリニューアルしました。
静岡県磐田市勾坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地
TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898
URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：島・伊藤元・横井・山崎

発行日 平成29年9月1日